

2012年10月4日(木)

**“適合型ビジネスサービス”という新しいコンセプトのもと、
業務に必要な機能のみを自由に組み合わせたシステム構築が可能な
業務パッケージソフトウェア『Adaptive Biz Service』を販売開始
～一体型パッケージソフトウェアと比較して、画期的な納期短縮・低コストを実現～**

株式会社協和エクシオ

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石川國雄）では、このたび、企業の業務システム構築に関し“適合型ビジネスサービス”という新しいコンセプトのもと、SOA^{※1}のアーキテクチャを活用し、導入する企業の業務に必要な最小限のビジネスサービスやビジネスプロセスのみを組み合わせて提供することで、従来の一体型パッケージソフトウェアでのシステム構築と比較して約3分の1の納期とコストを実現した、業務パッケージソフトウェア『Adaptive Biz Service』を開発、販売を開始いたします。

販売を開始する『Adaptive Biz Service』は、企業を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる業務システムの構築を実現するため、従来の一体型パッケージソフトウェアのように現状の業務をパッケージソフトウェアに合わせるのではなく、企業の業務に適合する形でビジネスプロセス、ビジネスサービスを組み合わせる柔軟にシステムを構築する、“適合型ビジネスサービス”という新しいコンセプトのもとに開発された業務パッケージソフトウェアです。

システムの構築にあたっては、当社がこれまで手掛けてきた豊富な業務システムの開発実績や事例をもとに、様々な業種の契約から課金・請求・決済・カスタマーケアなどの一連の主要なビジネスプロセス、ビジネスルール、ビジネスサービスを、SOAのアーキテクチャを活用し各企業の業務に必要な部分のみを最小限で構成して提供することにより、一体型パッケージソフトウェアでのシステム構築と比較して、約3分の1の納期・コストを実現しました。これにより、運用開始までに時間がかかることや高額な導入費用を理由に導入を見合わせていた企業などでも、『Adaptive Biz Service』でシステムを構築することで、新しいビジネス展開にも迅速に対応することが可能になります。

また、ビジネスプロセスの可視化と追加変更に対応できるBPM^{※2}や、ビジネスルールの変更に対応できるBRMS^{※3}、既存システムとの連携をシームレスに実現するESB^{※4}を採用することで、『Adaptive Biz Service』導入後も、市場環境の変化に柔軟に対応した継続的な業務改善を行うことが可能となります。

当社では『Adaptive Biz Service』の販売により、今後3年間で30億円の売上げを目指します。

※1 SOA (Service - Oriented Architecture)

…業務上の一処理に相当するソフトウェアの機能をサービスと見立て、そのサービスをネットワーク上で連携させてシステム全体を構築していく考え方で、業務処理の変化をシステムの変更素早く反映させたいという需要に応える、システムアーキテクチャ。

※2 BPM (Business Process Management)

…複数のビジネスプロセスや業務システムを統合・制御・自動化し、業務フロー全体を最適化するための技術。BPMを導入することで、ビジネスプロセスが可視化され、ビジネスプロセスの変更に柔軟に対応できるようになる。また、業務の効率化に向けて、継続的な改善がしやすくなる。

※3 BRMS (Business Rule Management System)

…業務上の規則や条件、判断基準、経験的な対処パターンをビジネスルールとして定義・登録し、その組み合わせから複雑な業務判断を自動的に行うシステムのこと。

※4 ESB (Enterprise Service Bus)

…システムアーキテクチャである SOA をベースとして、企業内の異なるシステム間や企業間のシステムを統合するための技術。

■『Adaptive Biz Service』の特徴

『Adaptive Biz Service』は、変化への柔軟性に富んだ SOA アーキテクチャの採用と、お客様が必要な適切な単位（ビジネスプロセス・ビジネスサービス・ビジネスルール等）での提供により下記を実現します。

1. 短期間・低価格でのシステム構築が可能で、新しいビジネス展開を迅速にサポート

…『Adaptive Biz Service』は、業種で必要となる機能（ビジネスプロセス、ビジネスルール、ビジネスサービス、データモデル）を最小限のパッケージで提供するため、一体型パッケージソフトウェアに比べ約3分の1の期間・コストでシステム構築が可能です。これにより、導入企業はビジネスチャンスを逃さずに、新しいビジネス展開に迅速に対応することが可能になります。

2. 既存システムやクラウドとの連携も容易に実現

…『Adaptive Biz Service』は、SOA アーキテクチャを採用することで様々な形式のデータとの連携にも対応可能なため、すでに構築済みの既存システムを活用しながら、新たに必要な業務のシステムのみを『Adaptive Biz Service』で追加することも可能なほか、クラウドとの連携も容易です。

3. ビジネスプロセスの可視化やモニタリング機能の標準搭載により、ビジネス環境の変化にも迅速に対応

…BPMを採用することで、従来の一体型パッケージソフトウェアではブラックボックスになっていたビジネスプロセスを可視化するとともに、モニタリング機能を標準搭載することで、業務プロセスの変更にも容易に対応することが可能です。また、『Adaptive Biz Service』を必要最小限の構成で導入し、その後業務が拡大しアプリケーションソフトウェアの追加・拡大の必要が生じた場合にも、ビジネスサービス単位での導入・拡張が可能です。

- **価格** 1,000万円*～
※ハードウェア・OS・ミドルウェアの費用は含まれておりません

【価格例】

アプリケーション基盤 600万円 + 料金計算機能（サービス・ルール・データモデル含む） 400万円
= 1,000万円

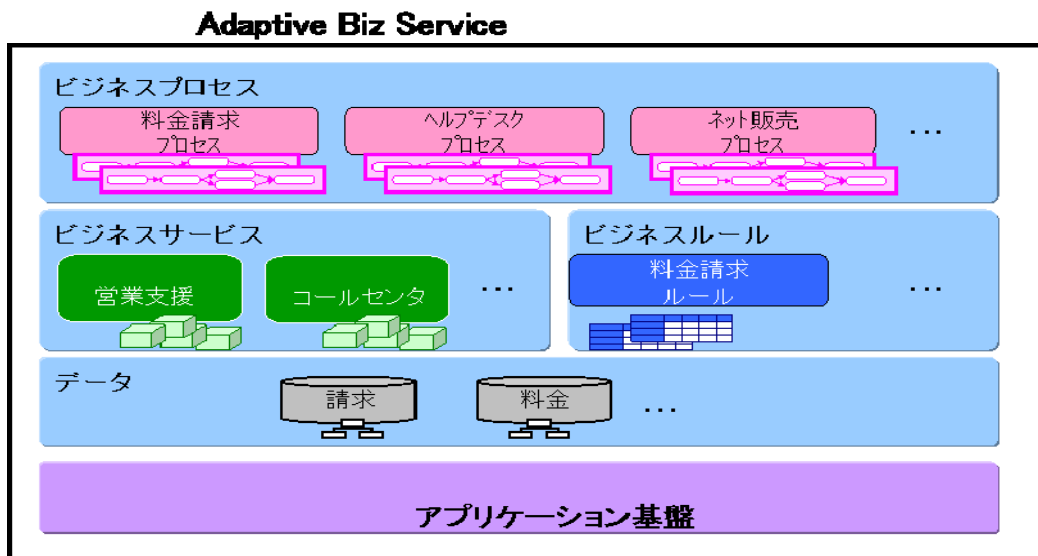
■ **動作環境**

お客様の環境に合わせてご提案させていただきますので、お問い合わせください

■ 『Adaptive Biz Service』の企業導入イメージ

- ・ ISP事業者の加入申込みから課金・請求・収納までの一連の業務システムを構築
- ・ ヘルプデスクの問い合わせ受付からサービス手配、問い合わせ回答までの業務システムを構築
- ・ ネット販売の受注から出荷・請求・収納までの一連の業務システムを構築

■ 『Adaptive Biz Service』システム構成イメージ図



【製品に関する読者のお問い合わせ先】

株式会社協和エクシオ ビジネスソリューション事業本部 営業本部 営業部門
電話:03-5778-1087

■株式会社協和エクシオについて

協和エクシオは、「ICT (Information and Communication Technology) のソリューション・サービス企業としてビジネスの拡大を図り、新たな成長を実現する」という中期ビジョンのもと、エンジニアリングソリューション事業とシステムソリューション事業を展開しています。

システムソリューション事業においては、これまで培ってきた情報通信技術を活用し、多くの大規模基幹系システムの構築実績に加え、自社ノウハウにより優位性のあるSOA・BPM・ビルディングシステムなどのソリューションも数多く手がけ、付加価値の高いITソリューションを提供しています。

また、全国規模の自社ネットワークを有し、コンサルティングから設計。施工・運用・監視・保守までをトータルでサポートしています。

1954年設立、東証一部上場、従業員7,872名（連結2012年3月現在）

（ホームページ：<http://www.exeo.co.jp/>）

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 広報室

電話:03-5778-1075(直) FAX:03-5778-1230

担当:高柳 圭伸